



2020-21 年度地区方針「行動するロータリアン！世界で何かよいことをしよう、TOGETHER！」

本 日 第2397回 2021年4月23日(金) No. 2278
本日のプログラム Today's Program 卓話担当者: 青少年奉仕委員会
点 鐘 12:30 卓 話 者: //
静 聴 「 四つのテスト 」 演 題: 「 青少年奉仕について 」

前 回 第2396回 2021年4月18日(日) 記 録
2021-22年度 地区研修協議会 於名鉄グランドホテル 9:30～15:00
オンサイト: 2021-22年度会長・幹事 オンライン: 4月25日(日) 10:00～12:00

前々回 第2395回 2021年4月2日(日) 記 録

出席者: 会員 25 名中 20 名出席 出席率 80.00%
 ゲスト: 2019 年度米山記念奨学生
 オトゴンバートル・ドルジンスレンさん

会長あいさつ 舟橋 龍秀



本日の卓話は、金森先生にワクチン接種のお話をさせていただきます。目下、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの接種が大きなトピックになっています。接種の順位が示されてい

ます。私の勤務する第一赤十字病院は、コロナ感染症患者さんのための指定病院になっているため、先行接種で、私も 3 月 31 日に 2 回の接種を終了しました。ファイザー社のものでしたが、副反応として、アナフィラキシーショックや発熱、倦怠感などが報告され、打つ前は少し不安でした。幸いにして大きな副反応はありませんでしたが、その日の夕方から翌日のお昼頃まで、注射部位に筋肉痛がありました。これから、医療関係者、高齢者、基礎疾患のある人

などが優先的に対象になるようです。詳しいことは金森先生のお話を伺って、接種するかどうかを決めていただきたいと思います。

さて、4 月になり暖かい陽気が続いています。秋から冬にかけてのピンと張り詰めた清冽な空気感とは違って、「春眠暁を覚えず」という李白の詩にあるように、空気はどことなくもやとして、見通しも良くありません。この季節のこのぼんやりとした見通しの悪い空気を「春霞」と呼びます。この霞の正体は、水蒸気、花粉、そして中国大陸から偏西風に乗って運ばれてくる黄砂や大気汚染物質など様々です。私には、専門的なことはよくわかりませんが、春に気温が上がって地面から上空に向かって上昇気流が発生すると、地上にある砂や埃が巻き上げられて空気中に漂いやすくなり、これが太陽光を散乱させて白っぽく見えるようにあるということらしいです。また上空の高い所で冷えた水蒸気のが小さな氷の粒となり、これも空を白っぽくする原因のようです。

母子の健康月間

例 会 予 定	4月30日(金)	5月7日(金)	5月15日(土)	5月21日(金)
	休会 定款により休会	卓話担当者: 創立 50 周年記念 事業実行委員会 卓話者: 箕輪 良孝 創立 50 周年 記念事業実行委員長 演題: 「創立 50 周年記念事業 について」	創立 50 周年 記念式典及び祝賀会 (14 日振替) 於名古屋東急ホテル 式典: 16:00～	座禅例会 於良福寺書院 担当者: 例会運営委員会

春霞の原因は、他にも、花粉があります。花粉症の原因となるスギはヒノキの花が開花し花粉が飛散します。映像をみると驚くばかりの飛散の仕方です。この花粉も春霞の原因のひとつです。

春の気圧配置も春霞を発生させます。この原因が黄砂です。黄砂は中国大陸にあるタクラマカン砂漠やゴビ砂漠の砂が偏西風に乗って日本に到達する現象です。洗濯物や車に黄砂や花粉がついて面倒なことになってしまいます。「春霞」という言葉はとても美しいと思いますが、その正体は綺麗なものとは言えないようです。

そうは言っても、春は人の気分を穏やかにしてくれる季節です。そう言えば、「花霞」という言葉もあります。桜が満開となった時期、遠くを見通すと、情景がうっすらと桜色に染まって霞んで見えますが、今年は、コロナ禍のお花見自粛で、例年のような楽しい宴を開くことができず残念です。

コロナ禍に打ち勝つために、ワクチンがどれだけの威力があるかはこれからのことですが、私は、一筋の光明が差ししてきたように思っています。

本日の会長挨拶はこれで終わりにします。

幹事報告

・3/26(金)米山奨学期間終了者歓送会 於ホテルメルパルク名古屋 山田地区米山記念奨学委員 出席

本日の会合：第11回現・第2回次期理事役員会
於尾張旭市商工会館内 第1会議室
13:40～

次回の例会：4/18(日)2021-22 年度地区研修協議会
於名鉄グランドホテル 出席者は
2021-22 年度会長・幹事のみ
オンライン配信 4/25(日)10:00～
12:00 地区ホームページ内

おめでとう



○結婚記念日祝福

4月24日 飯田 幸雄さん

4月29日 古橋 裕志さん

○誕生日祝福

4月16日 谷口 亜弥さん

4月30日 桜井 雅博さん

ニコボックス

○ドーギーちゃん、お久しぶりです。ようこそおいで下しました。

舟橋 龍秀君、松永 洋子さん、金森 俊輔君
○飯田 幸雄せんせい、高齢者叙勲瑞宝双光章の授章、誠におめでとうございます。今後も尾張旭市の宝として益々光り輝いていただくよう願っております。 その他

○結婚記念日を祝っていただき。

飯田 幸雄君、古橋 裕志君

○誕生日を祝っていただき。

桜井 雅博君

○本日、卓話を担当させていただきます。つたない話ですが、よろしくお願いいたします。

金森 俊輔君

○金森先生の卓話を楽しみにしております。

舟橋 龍秀君、松永 洋子さん、加藤 清久君

菊田 利昭君、古橋エツ子さん、中森 正裕君

森 康美君、森井 晴生君

○桜満開、自然の芸術なり、「祝」孫の入学・進学おめでとう。

井田 武憲君

○4月3日、花見のホスト担当します。今年最後のらと桜色に染まって霞んで見えますが、今年は、コロナ

桜となります。日曜日は雨でもう終わります。

加藤 清久君

○前回、今回と地区米山関係の行事と重なって例会に出席出来ません。コロナについて私も含めて油断無きようくれぐれも注意してお過ごし下さい。お願いします。

山田 直樹君

○13時過ぎに早退致します。すみません。

田辺 哲郎君

米山記念奨学生へ奨学金授与



米山記念奨学生
オトゴンバートル・
ドルジンズレンさん(右)

第11回現・第2回次期理事役員会

日時：2021年4月2日(金) 13:40～

場所：尾張旭市商工会館内 第1会議室

報告事項：1) 3月度会計報告(金森会計委員長)
・承認された。

協議事項：1) 手をつなぐ親の会協賛について
(井田社会奉仕委員長)
・例年通り協賛する事で承認された

2) 旭野高等学校移動例会について
(井田青少年奉仕副委員長)
・通常例会へと変更し、例会後に会長・幹事・委員長で旭野高等学校へ訪問し、贈呈する。

3) 既存時計塔塗装・標柱設置について
(井田社会奉仕委員長)
・提案通りで承認された。

4) 創立50周年記念式典祝賀会について
(古橋裕志部会長)
・出席者は会員のみに。
・会員表彰で贈呈する。

5) 創立50周年記念建造物贈呈について
(西尾部会長)
・市長・議長に出席頂く。

- 6) 座禅例会について (松永幹事)
 - ・ 良福寺書院にて開催する。
- 7) 次年度委員会事業計画予算について (桜井会長エレクト)
 - ・ 生涯現役トレーニングについては、今後も検討していく。
- 8) その他の件
 - ・ 事務局ゴールデンウィーク休暇は、4/29(木)～5/5(水)まで (ガバナー事務所と同じ)

卓話



「予防接種の話」

金森 俊輔

予防接種は、各種の病原体に対して免疫を持たない感受性者への免疫賦与あるいは、免疫の増強効果（ブースター効果）を目的に行われる。また風疹、水痘、麻疹ワクチンは、妊娠前の女性に接種することで、妊婦自身の発症予防・重症化予防、胎児への影響を予防することを目的とするワクチンもある。がん予防の領域にも効果があり、B型肝炎ワクチンは、慢性肝炎、肝硬変、肝がんの予防を目的とし、ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンは子宮頸がんの予防に大きな効果を持っている。

従来、小児の感染症といわれた麻疹、風疹、水痘、おたふくかぜ、百日咳に成人が罹患するようになり、ワクチンを行う年齢も、従来とは異なった考え方が必要になった。麻疹・風疹、水痘、おたふくかぜ等では、近年2回接種が推奨、多くの小児で実施されている。

ワクチンにはその成分の違いから、大きく「生ワクチン」「不活化ワクチン」「トキソイド」に分けられる。最近10年間で、主として1歳未満の乳児に対するワクチンの種類、接種回数が増加し、生後2か月からヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、四種混合ワクチンを複数回の接種を、多くの場合同時接種で行われている。また昨年10月には、乳幼児に重症の胃腸炎をもたらすロタウイルスワクチンが定期接種となっている。

当市での各ワクチンの接種率は非常に高く、大多数の乳幼児が推奨されているスケジュールで予防接種を受けているが、中には“どうしても予防接種を受けさせたくない保護者”がみられ、その理由は「予防接種には危険性がある?」「赤ちゃんに何本も注射打つなんて可哀想」「感染しないから大丈夫」「予防接種での副反応が怖い?」など様々である。

しかし、ワクチン接種後の副反応（有害事象）は、各ワクチンとも0.1%以下、10万接種あたり0.05～9人と、該当する疾患に罹患した際の重症化、合併症の頻度と比べると、非常に低率である。

新型コロナウイルスワクチンは、現在医療従事者

に対する接種が始まっており、4月下旬からは65歳以上の高齢者にも開始される。現在、集団接種とかかりつけ医による個別接種の準備を行っているところである。

3月26日（金）卓話



「なぜ、ジェンダーギャップが課題なのか」

古橋 エツ子

現在、クラブの目標であるSDGsの課題「ジェンダーギャップ」は、大

学院のゼミ報告で帝国興信所生理休暇事件を報告した時から強く意識していました。当時は、35歳定年、結婚退職は当然という時代でした。その後、働く女性が増えましたが、職場は男性主体の体制だったので、裁判の中でも生理・妊娠・出産がいかに大きなことか気付かず、理解されていませんでした。そこで、男女のギャップを「社会保障法」を通して明確にし、その課題を研究していこうと現在にいたっています。

ジェンダーギャップが社会保障法上の課題となる事例は、男女双方に存在しています。男性の事例では、父子家庭への児童扶養手当支給は2010年改正まで、遺族基礎年金の支給も2014年改正まで施行されていませんでした。女性の事例では、災害弔慰金・見舞金、災害弔慰金などで支給額の差が設置され、生活再建支援金では、離婚前提の別居やDVにより避難している女性は「世帯主」が要件のため申請できませんでした。

そもそも、事故で死亡した際の「逸失利益の算定」における男女差は、1960年代以前は、男の子は就労が想定されて算定されましたが、女の子は25歳で結婚して専業主婦になると想定して補償は0算定でした。現在、女性は全労働者の平均賃金で算定されています。しかし、男性は全男性労働者の平均賃金で算定されており、いまだ100:87と約13の格差が残されています。

現在、育児・介護休業法は男女が取得でき、所得補償もされて取得しやすくなっています。なお、介護離職が“社会の損失”といわれるのは、フルタイムの人が50歳代で離職した場合、65歳定年まで約10数年働いていたら得られた「機会費用」が7,000万円～1億円となるからです。同時に、介護離職は、税金&各種保険料の減収が大きな課題となります。

2021-22年度地区研修協議会

【第1部 オンサイト】(来場型)

日 時：2021年4月18日（日）9:30～15:00

場 所：名鉄グランドホテル

ホスト：名古屋栄ロータリークラブ

出席者：桜井 雅博次年度会長

菊田 利昭次年度幹事

【第2部 オンライン】

日 時：2021年4月25日（日）10:00～12:00

方 式：地区内ホームページ「地区研修・協議会」

出席者：次年度役員・理事・前委員長・入会3年未満の新会員（2018年4月～）

内 容：①第1部

地区研修・協議会 本会議

②特別講演

「変化の時代における公共イメージ向上」
第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター

第2750地区パストガバナー

服部 陽子 様（東京広尾ロータリークラブ）

③クラブ役職別研修・協議会

※参加したプログラムで、クラブ名・役職・氏名を入力して送信してください。

【第1部 オンサイト】



ガバナー月信4月号



皆さん、こんにちは。2020-21年度ガバナー、名古屋北ロータリークラブ所属の岡部 です。

まずは先月14日、地区大会に神野重行RI会長代理をお迎えし、多くの御来賓、会員、ファミリーのご登録をいただき無事終了で

きましたこと、誠にありがとうございました。ニューノーマル時代のハイブリッド型地区大会を目指し、ホストクラブの知立ロータリークラブ及び関係の皆さんと一生懸命に企画を練り、入念に準備して実施しました。結果として神野RI会長代理のおっしゃられたように、マローニーRI直前会長とのオンラインセッションを含め歴代3人（ホルガー・クナーク、マーク・D・マローニー、ゲイリー・ホワン各氏）のRI会長にビデオメッセージなどでご出

演いただき、示唆に富んだお話をきかせてもらえる「おまけ」まで付いた大会となりました。元宮崎県知事・東国原英夫さんのピンチをチャンスに変える講演「逆境を笑え」もよかったのではないのでしょうか。最も良かったことは、創意工夫をし、入念な準備をすることによりイベント開催が実現したこと

です。さて、昨年初から始まった新型コロナ禍ですが私たちの予想より遙か長期にわたって続くことが現実になってきました。昨年2月頃、政府発表では少しの間忍耐すればこの災禍は逃れられる、というような説明でした。しかし中々収束しません。そこで私は一旦延期したPETSを止む無くDVD視聴による研修会議にしました。そして、今度こそ終わるのではないかと考えていた矢先、さらに拡大し、マスコミ情報もどこまで信じられるのか？というところにまでなってしまいました。地区研修・協議会も2回延期しましたが、それでも収まらず試行錯誤の上、やっと6月6日に初めてのYouTubeによる地区研修・協議会として実施しました。その中で必死に考えた創意工夫が今になって役立っており、今月行われる地区・研修協議会も昨年同様にYouTubeの活用で行われます。一つの運営インフラが出来たわけですが、省名年度はさらに工夫を重ねてよりニューノーマルなセミナーを開催してもらえればと思います。

また、4月14日をもって、名古屋宮の杜ロータリークラブがこれまでの西三河中分区から西名古屋分区の名古屋名駅ロータリークラブの子クラブとして移ります。若々しさ溢れるクラブですので、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

ところで、今月4月は「母子の健康月間」です。2014年10月、RI理事会は4月を重点分野：「母子の健康月間」としました。5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間です。この中では、子どもの健康に直結する食の分野ですが、当2760地区で今年度大きく伸びた奉仕事業が「子ども食堂」です。もともと名古屋名東ロータリークラブのRCCで市内中心に積極的に活動支援をしていたのが、ロータリアンが多く応援するようになり、地区でも支援しましたところ大きなうねりになってきました。地区内すみずみまで行き渡るように、地区社会奉仕委員会も支援策を構築中です。日本は世界で最も豊かな国であったはずで、多くの子どもたちが食に困るという事態があってはならないと思います。引き続き、「行動するロータリアン」のご協力よろしくお願い申し上げます。

私の年度もあと3か月ちょっとになりました。最終コーナー、やり残すことの無いように努力を積み重ねてまいります。あと少しお付き合いください。